

# ゆめごよみ風だより 96号

KSKP 通巻 12038号 2021年9月24日発行

へんしゅうにん とくていひ えいりかつどうほうじん かぜききんじむきょく  
編集人 特定非営利活動法人 ゆめ風基金事務局

おおさかしひがしよどがわくひがしなかじま  
(〒533-0033大阪市東淀川区東中島1-13-43-106) TEL06-6324-7702・FAX06-6321-5662

ゆうびんふりかえ  
郵便振替00980-7-40043 MAIL:info@yumekazek.com WEB <https://yumekazek.com/>

一九八四年八月二十日第三種郵便物承認毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

## かんとうげん 巻頭言1~2p

くるしいとき しや ひろく ひさいけいけん つよみ かえる たのしくなま  
苦しい時こそ、視野を広く! 被災経験を強みに変える!! 楽しく仲間とつながる!!!

りじ うちだ ひとみ  
理事 内田 瞳

きんきゅうじたい さつこん ひんぱん きく いしき しんがたういるす  
緊急事態。昨今は頻繁にこのことばを聞くようになり、意識するようになった。新型ウイルスの

とらい しぜんさいがい たはつ わたしたち どんなふう いきて きこうへんどう かんきょうもんだい  
到来、自然災害の多発。私たちはどんな風に生きていけばいいのか。気候変動や環境問題など、

いろいろ かんがえなければ やまもり さわがしいじだい いきるなか じぶん きもち  
色々と考えなければいけないことが山盛り。とても騒がしい時代に生きる中で、自分の気持ちには

なるべくしょうじきでありたい。日本にいても、嫌なことにはしっかりとノーを言いたい。それでいて仲間

とつながっていたい。こんなことを思うようになった。今やなにもあたりまえではない世の中をどのよ

うにとらえ くらして たいせつ なかま いのち くらし やわらかく い  
うに捉え、暮らしていくのか。大切な仲間たちと命や暮らしをまもりあい、柔らかくしなやかに生き

たいと願う。そしてまずは自分自身の生活や体調を整えていく。これに尽きるのかもしれない。

きんきゅうじたい ちきゅう おきて せかいじゅう おきて にほん かんさい  
緊急事態は地球で起きている。つまり世界中で起きている。日本にだけ、関西にだけということ

はないのだから、まわり ひと きょうゆう い み つよみ きょうかん しげき  
はないのだから、周りの人たちと共有できることはある意味強みかもしれない。共感したり、刺激し

たかめあつたり、そして人生を長い目で考え優先順位をつけて、実践していける。苦しい時こそ、

視野を広くもつ。地球の裏側の世界や生活をイメージしてみる。そこに暮らす人々の日常を知ろう

とする。優劣ではなくて、貧富ではなくて、私ができる範囲でやれることを今からやっていく。障害

当事者として生まれ、大震災を経験したからこそ、命の重みを深く感じている。人生はきっとあつ

という間だろうから、毎日を丁寧に生きていきたいと考える。

さいきん、ビッグニュースとして嬉しいのは、3度目の宇宙から帰還した宇宙飛行士の野口聡一さん

のこと。まさに未来への仲間づくりをされている先駆者のように感じ、SNSを覗かせてもらいなが

らすごく親近感をもっている。YouTuber としてののしいことや私たちの興味がありそうなことをどん

どん発信してくださっている。しかも特に若い世代とつながりながら、今後行きたい人はさらに宇宙

へ行けるようになるという希望と夢をユニークに魅せてくださる。私たちは地球での大変さを日々

かみしめながらも、野口さんの人柄と話し方、たくさんの方に好感をもち、このように暮らしてい

たいとお手本になってくださる人なのだとも思う。

少し余談になるけれど、私はいま海外製の電動車椅子を使って、自立生活をしている。すごく

高機能な車椅子なので、からだにもラクで見た目にもオシャレでいたくて、メンテナンスにも気をつ

けている。座面の昇降機能もついているので、かなり低身長の方がカフェのカウンターへ行ける

ようになったし、音楽ライブで以前よりもステージが見やすくなった。このように日々進化している

電動車椅子。私は昔から空を飛ぶことに憧れていて飛行機や空港が大好きなので、いつか自分

のこのかっこいい車椅子に羽がはえて、すぐに離陸して遠い場所へ飛んでいけるような日が来る

ことを楽しみにしている。まさにスペースシャトルのように変身できないかなあとワクワクしている。

緊急事態にあってもなくても、人はひとりでは生きていけない。仲間とつながって地域コミュニティ

の中で周りの人と支え合って暮らしていく。どうやって仲間とつながればいいのか？ どのような

場所だったら人が集まり、つながっていけるのか？ そこには安心できる関係づくりと、未来について

ワクワクできる楽しい気持ちや希望の共有が必要不可欠になるのではないだろうか。宇宙

飛行士の野口さんは宇宙での暮らしをタイムリーに軽快に私たちに伝えてくださる。実際には、

準備や実践はとて大変でリスクの高いことも多いと思うが、それを感じさせないぐらいおもしろく、

視線を私たちに合わせてくださる。地上と宇宙では全然違うはずなのに、暮らしは意外に似ている

部分もあって、インターネットを使って面白いコンテンツを配信しつづけてくださることが本当にす

ばらしく感じ、尊敬している。しかも野口さんは、宇宙からお笑い番組を好きで観ていたりしたそう  
だ！！

宇宙から観る地球はとて美しいとのこと。私はこれからも楽しく仲間とつながりながら、緊急

事態にも備え、笑って楽しく暮らしたいと思う。

## コロナ関連3p

心強い応援に感謝-コロナ感染を経験して

NPO法人 出発(たびだち)の仲間の会 石井 香里(いしい かおり)

写真キャプション: クラスタ対応のために準備された感染対策用品

「もうすぐワクチン接種が始まるからそこまでなんとか乗り切れれば」と願っていた3月末、グル

ープホーム(以下 GH と略す)で暮らすメンバー2人が同じ日に発熱し、新型コロナウイルスに感染

しました。GH や日中活動先でも集団で過ごしていることも多く、メンバーによってはマスクをつける

ことができない人もあり、感染者がひとり出れば瞬く間に拡がってしまうのではと心配していました

が、ウィルスは思っていた以上のスピードで拡がり、1週間でメンバーと介護者合わせて12名が

感染しました。初めてひとりで入院することになったメンバーも多く、本人も家族も介護者も不安で

した。介護は長時間シフトになり、不慣れな緊張の高い介護で疲労も蓄積していきました。

事態が1週間を超えたとき、このままでは支援体制の維持が困難だと判断し、障害者団体と

自治体を通じて応援の要請をしたところ、すぐに各所から連絡をいただいて、陽性者の出ていない

GHの応援と物品調達などの後方支援に入ってもらうことができました。最終的に24名までひろが

ったクラスターは収束までに3週間で完了しました。

クラスターの対応期間中、想定しきれなかった細かな感染対策の不備など次々と課題があ

がりました。なかでも、「支援」についてはほぼ想定がなかったため応援に来てくださった方々に

助言していただきながら、支援を継続しました。応援要請については、障害者の生活支援をしてい

る団体同士で普段から一緒に活動したり、職員同士が顔見知りになっていることで、自分たちで

対処しきれない困難に直面したときに躊躇せずSOSを出すことができましたと思いますし、助けてく

れる人がいると思えることが何より心強かったです。ありがとうございました。この度の経験を糧に、

これからもいざというときにさっと助け合える土壌を地域でつくっていきたいと思います。

すいがいかんれん  
水害関連4, 5p

## 2019年水害関連

みやぎけん おおさとちょう ほうかごとう 宮城県 大郷町 放課後等デイサービス めるくまーる 粕川みらい 児玉 幸司

ことし おおあめ ひがい あわれたみなさま ころからおみまいもうしあげ  
今年7月1日からの大雨により被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

わたしたち ひがい とうじ きしやちやう きしやかいけん に ゆーす きんこう よくじつどようび かいしよじかん  
私達が被害にあった当時、気象庁の記者会見のニュースを参考に、「翌日土曜日の開所時間

たんしゆく じぜん かぞく はなし つうじよう かいしよじかん 2じかんまえ りようしゃ じたく おくり  
を短縮します。」と事前に家族に話し、通常の開所時間の2時間前に利用者を自宅に送りました。

くるま7だい まち ぶんかしせつ ちゆうしやじよう ひなん しよくいん じたくたいき すごす しじ  
車7台を町の文化施設の駐車場に避難させ、職員は自宅待機にて過ごすように指示をしました。

ゆうがた あめ つよく 22じ まち どぼくかんけいぎようしや れんらく はいり くるま しんすい いどう  
夕方より雨が強くなり、22時に町の土木関係業者から連絡が入り、「車が浸水している。移動し

ください かがい しせつ しせつふきん どうろ かんすい ため ちかよること  
て下さい。」しかし、鍵は施設で、施設付近の道路は冠水している為、だれも近寄る事はしないよう

しよくいん しじ くるま あきらめること  
に職員に指示をして車は諦める事にしました。

よくあさ くるま かくにん いく まち しよくいん しせつふきん かわ ほんらん れんらく うけ  
翌朝、車を確認しに行くと、町の職員から「施設付近の川が氾濫している」と連絡を受け、

てれびに ゆーす かくにん ていぼう けっかい たいいくかん かべ ほかい しせつ がらすど われだくりゆう  
テレビニュースで確認したら、堤防は決壊、体育館の壁を破壊、施設のガラス戸が割れ濁流が

しつない ながれこんで みえました みつか ご ひがい かくにん ところ ゆかうえ17めーとる しんすいじようたい  
室内に流れこんでいるのが見えました。3日後に被害の確認をした所、床上1.7メートルの浸水状態

かるい すべてりゆうしつ れいぞうこうとうすべて だろ なか うまって じようたい みつかり  
で、軽いものは全て流失。パソコン、冷蔵庫等々全てが泥の中に埋まっている状態で見つかりまし

どうじつ まち しせつ しよくいん こんご いく はなしあい どうめんへいしよ こと りようしゃ  
た。同日に町の施設で職員と今後どのようにして行くかを話し合い、当面閉所する事に。利用者

かぞく しよくいん ちやくせつどうめん あいだへいしよ こと つたえました まち かせつ しせつ ようぼう ところ ぶんかしせつ  
家族に職員が直接当面の間閉所する事を伝えました。町に仮設の施設を要望した所、文化施設

かりられること さいかい むけてじゆんび すすめ11がつなのかぶじ さいかい 70めい りようしゃ かける  
を借りられる事になり、再開に向けて準備を進め11月7日無事に再開でき70名の利用者が欠ける

ことなくつうしょ りよう こども ぞうきん ばけつ もってそうじ いく いった  
事無く通所してくれました。利用している子どもには、雑巾、バケツを持って掃除に行くと言ってくれ

こ さいかい まって こ つうしょ こども えがお しよくいん すごくすくわれ  
た子、再開をずっと待っていていた子、通所してきた子どもたちの笑顔に職員が凄く救われたこ

おもいだします そのご みやぎけん そうせつ ほじよきん しんせい ちやうゆうち むしやう かり こんねんどしがつ  
とを思い出します。その後、宮城県に創設の補助金を申請し、町有地を無償で借り、今年度4月か

しんきじゆうななめい りようしゃ うけい れみんなのしくすごして ひがい ころ おれそう  
らは新規17名の利用者を受け入れ皆楽しく過ごしております。被害にあって、心は折れそうに

こどもたち ほごしゃ しよくいん きずな いっそうつよいかんけい おもい  
なったが、子ども達、保護者、職員の絆が一層強い関係になったと思います。

すいがいふっこう みちのりーひさいち くのう  
水害復興への道のり-被災地の苦悩

さがけん たけおし じどうしえんじぎょうしょ きす りょうた  
佐賀県武雄市 児童支援事業所 ガラパゴス 木須 亮太

ことし かわらない なつ せみ こえ にゆうどうぐも てりつける ひざし なつ どうらい  
今年もいつもと変わらない夏がやってきました。蝉の声と入道雲、照りつける日差しに夏の到来

かんじて  
を感じています。

ことし ぶーる せつえい はったつしょうがい りょうしゃ みず なか からだ  
ガラパゴスでは今年、プールを設営しました。発達障害の利用者にとって水の中のあの体を

つつむかんかく たいへんきもち よい りょうしゃ みず ながす  
包む感覚は大変気持ちが良いものなのです。利用者にとって水はイライラするものを流すもの。

みず ほんとう たいせつ ころ あんてい こどもたち えがお おもいうかべながら せつえい とき  
水って本当に大切な心の安定です。子ども達の笑顔思い浮かべながら、設営していた時、

ことし ぶーる かたづけ あたま  
「今年はこのプールの片付けまでしたい」と頭をよぎりました。

2019年8月28日、ガラパゴスは変わりました。スタッフも一瞬で全てが消え去り、ショックだっ

たのか何人か辞めました。運営している私の気持ちも本当に変わってしまいました。この年もプー

ルを設置していました。でもあの豪雨と水害で、プールは一瞬で汚れ痛々しい姿でした。それをト

ラックの荷台に載せて廃棄したことを覚えています。あんなに笑顔があふれる、「学校のプールは

こわい」という利用者でも楽しく入れたガラパゴスのプール。プールを見るだけで子ども達の笑顔と

なつ かおり おもいだせた ひ こどもたち おもいで とも こわれて  
夏の香りを思い出せたのに、あの日ガラパゴスのプールは子ども達の思い出と共に壊れてしま

もちろんプールだけではありません。ガラパゴスが利用できなくなり、学校へ足が遠のいた子、

あめ おと ぱにつく でて こ こころ きず そうぞう こえて りょうしゃ ほうもん  
雨の音にパニックが出てしまう子など、心の傷は想像をはるかに超えていました。利用者を訪問し

ようす きいてまわり しょくざい とどけたり ぶつし しえん かたわら じむしょ  
て様子を聞いて回り、食材を届けたり、物資の支援もおこないました。その傍らで、事務所の

かたづけ まいにちいつかげつかんやすみ おこないました きょうざい たぶれっと なみだ ながしながら はいき  
片付けは毎日1か月間休みなく行いました。いろいろな教材やタブレット、涙を流しながら、廃棄し  
ました。なにひとつのこせ  
ました。何一つ残せませんでした。

ふっきゅう ようしたひよう じかん ただい うんえい あきらめたく  
復旧に要した費用、時間は多大なものでした。それでも運営を諦めたくなく、

くらうどふ あんでいんぐ ちょうせん はじめてで じょうず にできずに 目標実現まで いたらなかったの  
クラウドファンディングに挑戦をしました。初めてで上手にできずに目標実現まで至らなかったの

りようしゃ え うけ とって なんめい かた じきひつ おてがみ  
ですが、利用者の絵を受け取ってくださった何名かの方には直筆のお手紙をいただいたりして、

とおくはなれて ころよ せて ほう げんき  
遠く離れていてもこんなに心を寄せてくださる方がいらっしゃるんだなって元気をもらいました。

えぬえちけーさ がきょく しゅざい うけ ぜんこく みつちやくどき ゆめんたりー ほうそう  
NHK佐賀局の取材を受け、全国で密着ドキュメンタリーの放送もありました。NHKのフェイスブッ

どうが 100まんさいせい さくきーわーど あい りかい  
ク動画は100万再生され、YouTubeにもアップされました！（検索キーワード「愛よりも理解を」）

かいがい おうえん こめんと じぶん あゆむ みち いま だいじょうぶ  
海外からも応援のコメントをいただき、自分たちの歩むべき道は「今のところ大丈夫。ずれていな

い。」と確信をもっています。

すいがいご かぜききん たくさん かたがた しえん いただき いま とき  
ガラパゴスは、水害後、ゆめ風基金をはじめ沢山のの方々に支援を頂き、今があります。あの時

しえん こどもたち いばしょ とりもどせ  
の支援がなかったら、子ども達の居場所を取り戻せなかったかもしれません。

なつ こどもたち みず じこ おおい しょうがい とくせい あわせて みず じこ  
夏は子ども達にとって水の事故が多いです。だからこそ、障害の特性に合わせて、水の事故に

きょうみ かんしん ととのえかた かがい  
つながらないような興味・関心の整え方をトレーニングするために、ガラパゴスのプールや、課外

かつどう かわあそび じゅんび いま りよう こどもたち あんぜん  
活動に川遊びをたくさん準備します。すべては今ガラパゴスを利用している子ども達が安全に

しあわせ いきつづける かんがえ もと  
幸せに生き続けることができるようにという考えの下です。

りようしゃ ふえて いっぽう きんせんてき じじょう そうげいしゃ じゆんび で き ず あたま かかえて  
利用者が増えていく一方で、金銭的な事情でまだまだ送迎車の準備が出来ず頭を抱えている

げんじつ かぎり こうかい ひび すごして  
のも現実です。できる限りのことをやって、後悔のないような日々を過ごしていくために、もっともっ

どりょく ひつよう すいがいご うんえい むりょくさ かんじて  
と努力が必要なのだろうと水害後、運営をしながら無力さも感じています。

ことし あめ ふる きよねん おなじ すいがい おきたら… せつえい わたし  
今年も雨が降るでしょう。去年は「同じこと(水害)が起きたら…」と設営しなかったプール。私の

ころ すいがい つめあと きざまれて ふあん こわかった きよねん あめ ひ けいかいあらーと  
心にも水害の爪痕はしっかり刻まれており不安で怖かったのです。去年は雨の日の警戒アラート

まいかいるま たかだい はこびました じぶん ころ よわき じっかん いま ひ こと おもいだす  
で毎回車を高台に運びました。自分の心の弱さを実感していますし、今もあの日の事を思い出す

いや くるしい  
ことが嫌で苦しいです。

ことし こんかいせっち ぶーる かたづける わたし かたづけたい  
今年こそは、今回設置したプールを片付けるところまで。私はどうしても片づけたいのです。そ

ぶじ にちじょう すごしたい いのって  
うやって無事に日常を過ごしたい。ただそれだけを祈っています。

ぜ ひ こんご ごしえん よう おねがいもうしあげ  
是非、今後ともご支援いただきます様、お願い申し上げます。

## 災害対策基本法、告知 6p

さいがいたいさくきほんほう かいせい じ む きょくちょう やはた たかし  
災害対策基本法が改正されました 事務局長 八幡 隆司

ことしががつはつ かつけ さいがいたいさくきほんほう いちぶ かいせい ほうりつ しこう  
今年5月20日付で、災害対策基本法の一部を改正する法律が施行されました。

さいきん こうう に ゆー す ひだりず で て しゅってん ないかくふほうさいたんとう あらた  
最近の豪雨のニュースではよく左図のようなものが出てきます。(出典:内閣府防災担当「新たな

ひ なんじょうほう  
避難情報について)



これは豪雨の時の情報が変わり、今までわかりにくかった「避難指示」、「避難勧告」といった

情報を一本化し、「避難指示」として警戒レベル4ではみんなが避難することとなりました。「避難

準備・高齢者等避難開始」という長い言葉も「高齢者等避難」というすっきりとした名称になりました。

災害対策基本法改正に伴って障害者にとって重要な一つ目は災害時における要援護者等の

個人支援プランが市町村の努力義務となったことです。これは災害時における個人支援プランを

市町村が積極的に作るよう促す動きです。

もう一つは福祉避難所への直接避難を国が促していることです。内閣府の「福祉避難所運営ガ

イドライン」がすでに改正されており、協定を結んだ福祉避難所が、あらかじめ要援護者と契約す

ることで、福祉避難所へ直接行ける仕組みが明確になっています。

これら二つの改正が今後どこまで進むのかわかりませんが、ゆめ風基金としても注目していき

たいと思います。

東日本大震災復興支援定期「サポートV」活動報告会のお知らせ

ゆめ風基金に多大な協力をいただいている近畿労働金庫。その近畿ろうきんで「サポートV」という

東日本大震災復興支援定期預金が2011年に作られ、その定期預金の利息を上乗せして10年間

にわたって寄付してくださるプログラムが今年で完了します。

その報告会が次のように行われますので、みなさんのご参加をお願いします。

日時 2021年10月23日(土)13:30～15:40

場所 オンライン開催(YouTube による限定配信)

内容

・「サポートV」の10年間の寄付金と活動報告

・「サポートV」による支援先からの活動報告

あしなが育英会

西田 正弘さん 東北レインボーハウス 所長

山下 高文さん 東北レインボーハウス

ゆめ風基金

太齋 京子さん NPO法人奏海の杜(宮城)

橋本 由利子さん NPO法人コーヒータイム(福島)

・クロストーク「10年間の支援を振り返り、これからの東北・災害支援を考える」

申込・問合せはゆめ風基金まで。申し込みをいただいた方に配信アドレスをご連絡します。

ゆめ風ネットからこんにちは 15 7p

広島 NPO法人 障害者生活支援センター・てごーす 畑 俊彦

西日本豪雨から3年が経ち、何か広島でもイベントをと思っていた時に、「ゆめ風事務局」からこ

の原稿依頼の電話があった。私はその日の深夜、伊予灘を震源とする震度2・M4.3の地震と、

安芸灘を震源とする震度1・M4.0の地震を経験した。そして、追い討ちをかけるかのようにし

て豪雨災害にも見舞われた。その結果、避難情報等で携帯が鳴り止まず、寝不足のまま一日が

はじまった  
始まった。

つゆまつき ごうさいがい 7ねんほどまえ つづいて せきらんうん おなじばしょ つらなっておおあめ  
梅雨末期の豪雨災害はここ7年程前から続いている。積乱雲が同じ場所に連なって大雨をもた

げんしょう しられて せんじょうこうすいたい ことば ていちゃく 7ねんまえ ひろしまどしやさいがい  
らす現象は知られていたが、線状降水帯の言葉が定着したのは7年前の広島土砂災害から。そ

はっせい さっち げんざい たいきちゆう すいじょうきりょう けいそく かくち えいすすめ わたし  
の発生を察知しようと現在、大気中の水蒸気量の計測が各地で鋭意進められている。私たちは

じょうほう て いれ いのち まもるこうどう じょうほう て いれる  
その情報を手に入れ、命を守る行動へとつなげていかなければならない。その情報を手に入れる

じょうほう はいしん ますこみとう だれひとり とりのこさせない  
ためにも、情報を配信できるマスコミ等には、誰一人として取り残させないように、わかりやすい

ことば はっしん ほしい  
言葉で発信して欲しい。

しぜんさいがい おおきくわけて ごうさいがい あらかじめじょうほうしゅうしゅう  
また、自然災害は大きく分けて2つある。豪雨災害などのように予め情報収集することができ

じしんさいがい おこる じょうほう  
るものと、地震災害などのようにいつどのように起こるのかわからなく情報をえることができないも

わたしたち にちじょう さいがい そなえてかいじょしゃ しえんしゃ れんけい  
のだ。私たちがやるべきことは、日常から災害に備えて介助者や支援者と連携をとっておくことで

わたしじしん ぼうとう のべたさいがい けいけん ときぜんこくかくち だいじょうぶ れんらく うけてほんとう  
ある。私自身、冒頭で述べた災害を経験した時全国各地から「大丈夫か？」と連絡を受けて本当

あんしん ちほう もの ぜんこく ゆうじん つながって たいせつ かんがえ  
に安心した。地方にいる者として全国の友人たちと繋がっていることは大切であると考えてる。

おきなわ えぬびーおーほうじん じりつせいかつ はやさか よしゆき  
沖縄 NPO法人 自立生活センター・イルカ 早坂 佳之

はいさい、ぐすーよー、ちゅうーがなびら(皆さんこんにちは、ご機嫌いかがですか)沖縄でゆ

かぜねっと まどぐち じりつせいかつ おきなわけんちゅうぶ ぎのわんし  
め風ネットの窓口をしている、自立生活センター・イルカがある沖縄県中部の宜野湾市は

ちゅうおうぶ きち どーなつつ し じむしょ ふたかい ひがししなかい みえる  
中央部を基地にくりぬかれたドーナツみたいな市です。事務所は二階から東シナ海が見える

ぜろめーとるちたい  
ゼロメートル地帯にあります。

まいにちしょうがいしゃ けんじょうしゃ すたっふ りようしゃ おきゃく じむしょ きます  
毎日障害者、健全者、スタッフ、利用者、お客さんがまぜこぜに事務所に来ます。

じゅうねんまえ ひがしにほんだいしんさい おきたひ しんげんち とおくて けいほう でて ひなん  
十年前の東日本大震災が起きた日、震源地は遠くても、警報が出ていたので、みんなで避難し

ました。内陸部の老人センターに車で避難したのですが、他に避難する人もなく、道も通常と  
変わりませんでした。避難所の畳で過ごした肌寒い夜を今でも思い出します。(被災地ではその  
比ではない事ですが)

実際に地震や津波に襲われた時に、私たちはどうしたら生き残ることができるか、その後の避難  
生活を過ごせるか、真剣に考え、行動しなければいけません。しかし、あれから十年たった今、そ  
の事を真剣に考える人はどれほどいるでしょう。

県内には離島も含めて5か所の自立生活センターがあります。毎年発生する台風は県民、特に  
障害者の生活に大なり小なり影響を及ぼします。災害対応は日常と地続きであることを念頭に、  
日々の活動から連携と情報共有をしながら、このコロナ禍においてもできること、やるべきことを  
考え、行動していきたいと思います。

この文章を書いているのは奇しくも相模原事件が起きた七月二六日。命の平等を実現するた  
めに今、私たちに何が出来るかを改めて問うていきましょう。黙とう。

## リレーエッセイ「災害と障害者」 8, 9p

災害をどのように捉えるか 平井 誠一

プロフィール えぬびーおーほうじん じりつせいかつしえんせんたーとやましよぞく 1953ねんとやまけんうまれ びょういん  
学校併設の障害者施設に3才から入所。その後、中・高は養護学校へ。住み込みで一般就労して  
いたが、青い芝運動や全障連解放運動・DPI日本会議・反差別国際運動などに関わってきま  
した。現在は、脳性麻痺の二次障害で頸椎の手術を受けてから地元富山で若手育成と「地域でと

い きる ついきゆうちゆう  
もに生きる」ことを追及中。

## じゆう むけられて 銃を向けられて

わたし はじめてあめりか いったとき わしんとん けねでいくこうない でんしてちよう ひらいた じゆう  
私が初めてアメリカに行った時に、ワシントンのケネディ空港内で電子手帳を開いたときに銃を  
もったぐんたい 5 6にん じゆう むけられてりようて あげて 1991ねんわんがんせんそう  
持った軍隊の5～6人に銃を向けられて両手を挙げていた。1991年湾岸戦争でアメリカはテロを  
おそれてげんかいたいせい でんしてちよう ばくはつぶつ きばくそうち おも  
恐れて厳戒態勢だった。電子手帳が爆発物の起爆装置だと思われたとのこと。

## のって たすかった タクシーに乗っていて助かった

1995ねん わたし もんぶしょうこうしょう しんじゆく こっかいぎじどう かすみがせき たくしー かよって  
1995年、私は文部省交渉のために新宿から国会議事堂のある霞ヶ関をタクシーで通っていたと  
きにうんでんしゆ ちかてつ なに らじお ききながらいわれた おきやく  
き運転手が「地下鉄で何かあったようです」とラジオを聴きながら言われた。「お客さん、  
たくしー のって よかった ひ かいごしゃ ひとり  
タクシーに乗っておられて良かったですね」といわれました。この日は、介護者がいなくて一人で  
いどう  
移動することになりました。あと  
後でわかったことは、これがあのオウム真理教のサリン事件でした。  
あつまって かた だれ まきこまれなかつた おぼえ  
集まってこられた方は誰も巻きこまれなかったことを覚えています。

## とやま たてやま まもられて いわれて 「富山は、立山に守られている」と言われてきました

とやま ひと とやま たてやま まもられて いったてやましんわ しんじて わたし  
よく富山の人たちは、「富山は、立山に守られている」と言って立山神話を信じているようだ。私  
こども ころ にいがたじしん しせつ ベッド 1めーとらうごいた の とじしん ゆれた  
が子どもの頃は新潟地震で施設にいたらベッドが1メートル動いたことや能登地震で揺れたりしました。  
いま おぼえて かぎり とやま おおきなさいがい あつたおぼえ  
今まで覚えている限り、富山でそんなに大きな災害に遭った覚えがありません。

きんねん じしん ちきゆうおんだんか かくち すいがい まいとし おこって ねっちゆうしよう ひんぱん  
近年、地震や地球温暖化により各地で水害が毎年のように起こっていたり、熱中症などが頻繁  
おこる しょうがいしゃ さいがい ぼうさい とりくみ とやま 3ねんまえ  
に起こるようになり、障害者の災害と防災の取り組みが行われるようになった。富山でも3年前か

ら民生委員・児童委員の方たちと講演会や避難訓練などを一緒に取り組んできました。最初のこ

ろは、障害者は防災訓練に参加したがる人が多いとか、障害者の方の地域情報が少ないと

か、どのように対応して良いかわからないという意見が出されてきました。

今年の春から民生委員・児童委員の方たちとネットワーク事業ということで富山市社協の担当者

がコーディネートして頂いて、毎月5回に分けて1970年代から今日までの障害者の現状と障害者

運動の取り組みを話し、現在障害者福祉サービスが進んできた中で、障害者の地域生活が福祉

サービスオンリーになり関わる人たちが福祉関係者のみになっている方が多いこと。

また、家からデイサービスなどの往復や福祉タクシーでのお出かけしかない方も多くなっている

現状が見られます。

「大雪でヘルパーさんが来られない」ことは、災害ではないか

今年の1月に富山は大雪に見舞われて、富山県内の交通機関が1週間止まってしまった。ヘル

パーさんは厳選して歩いて行けるところしか行けなかったと聞いています。私は団地に住んでい

て団地の周りの道は除雪されましたが、団地の中は雪をよけるところがなく、ヘルパーさんたちが

車を停めるところがなかったり、団地に住む方たちが高齢化していて除雪を行う方が少ないのが

現状です。

この事態を障害者当事者が「いつものことだから」と思っている方が多く、行政やヘルパー

事業所に言えば何かしてくれるだろうという意識の方が多くそんなに問題にはならなかったのです。

しかし、現状は降り積もる雪に対して除雪が間に合わず、仕事で帰宅の方が車の中で一晩

泊まったり、職場に歩いて行かれた方や休まれた方も多くいました。また、家に帰るのを諦めて

ほてる とまられたかた しゆくはくしゃ いわれ  
ホテルに泊まれた方で宿泊者がいっぱいだったと言われます。

ちがうじたい のりきったかた きんじよ ひと かんけい もって しょうがいしゃ かた  
このいつもと違う事態を乗り切った方たちは、近所の人たちと関係を持ってきた障害者の方たち  
でした。除雪を手伝って頂いた外国人の方で、普段は隣に車を停めておられます。民生委員の方  
もアパートの前の雪かきをしてくださったり。

さいがい おこりかけ ぎょうせい へる ぱーじぎょうしょ うごけないじたい おこって  
災害の起こりかけは、行政やヘルパー事業所が動けない事態が起こっているのだという  
しょうがいしゃがわ にんしき かえて ひつよう おもいます わたしたち かかわって かた ふゆ おおい  
障害者側の認識も変えていく必要があると思います。私たちが関わっている方で冬に多いのは  
ていたいおんしょう きゅうきゅうしゃ おやこ はこばれるかた  
低体温症により救急車で親子が運ばれる方もおられます。

ふくしきーびす おーるまいてい  
福祉サービスは、オールマイティではない

おおく ばあい さいがい おわって から さいがいてい 〇〇から〇〇は さいがいてい  
多くの場合は、災害が終わってから災害指定されて、〇〇から〇〇は災害指定されましたから  
ひなん かいごとう ふくしきーびす せいきゅう つうたつ きます たいおう  
避難しているところで介護等の福祉サービスとして請求されますと通達 comes。これでは対応  
がおそく じぜん よそく さいがい たいして さいがいてい じぜん ひなん うながして ひなんばしょ  
が遅くなります。事前に予測される災害に対して、災害指定して事前の避難を促して、避難場所に  
へる ぱーはけん ふくめたたいおう もとめていかなければ かんがえます  
ヘルパー派遣も含めた対応が求めて行かなければならないと考えます。

どうじ ふくしきかんけいしゃいがい かた にちじょうき つきあって  
それと同時に、福祉関係者以外の方たちと日常的にどういうふうにつき合っていくのか、どうい  
かんけい つくって かんがえていく たいせつ おもい  
関係を作っていくのかを考えて行くことが大切だと思います。

のべた ように ひとつひとつ たいけん すぎさった とき じぶん なに  
これまで述べたように、一つ一つの体験は、「過ぎ去ったこと」ではなく、その時に自分に何が  
おこって たらえかえして なに かんがえていく ひつよう かんがえます  
起こっていたのかを捉え返して、何をすればよかったのかを考えて行くことが必要だと考えます。

ことし なつ かぜばん ひなんじょうんえいし みゆれーしょん げーむ 民生委員・児童委員の方たちと  
今年の夏は「ゆめ風版 避難所運営シミュレーション」ゲームを民生委員・児童委員の方たちと  
おこないます  
行います。

キャンパをいただいた団体2021/3-2021/05 10p

おみせ ぼきんばこ おいて だんたい がいとうぼきん ばざー イベント あつめて  
お店に募金箱を置いてくださったり、街頭募金やバザー、イベントで集めてくださったりしています。

ほんとう  
本当にありがとうございます。

- 3/9 大刀洗町障がい児者親の会ぽけっと(福岡県三井郡)
- 3/15 阿波グローバルネット(徳島)、4/19、5/17 健康アメニティたのし(新宿区)
- 3/16 ワークセンターわっそ(伊丹市)、おとぎ保育園(綾瀬市)
- 3/17、4/16 ホームベース(枚方市)、柴山治療院(福井県坂井市)
- 3/19 プチマルシェ(中野区)、いーはとーぶ(さいたま市)、北巢本保育園(門真市)、TOLI 協会(世田谷区)、
- 3/22 妙元寺(名古屋市)、
- 3/23 豊中市立障害福祉センターひまわり、コーヒータイム(二本松市)、
- 3/24 鵜鷺コミュニティセンター(出雲市)、阿星山診療所(湖南市)
- 3/27 国際協力・障がい者支援センター愛のかけはし(多久市)
- 3/29、4/12 自立生活センター松山(松山市)
- 3/30 聖ベネディクト女子修道院(室蘭市)
- 3/31 沖島電機(沖縄県島尻郡)
- 4/13 錦保育園(登米市)
- 4/20 箕面市人権啓発推進協議会(箕面市)
- 4/21 喫茶ぶーけ(札幌市)
- 4/22 得雄寺(長崎県南松浦郡)
- 4/26 常在寺(長崎県)
- 5/7 夢工房こばちゃん(鳥取県八頭郡)
- 5/17 アド・スペース(越谷市)
- 5/26 浜松協働学舎を支える会(浜松市)
- 5/28 田辺三菱製薬労働組合(大阪府中央区)
- 5/31 玄家(埼玉県入間郡)

じむきょく うごき  
事務局の動き 10p

事務局の動き 2021年4月から6月の動きを一部ご紹介します。

毎週月曜日:事務局会議

- 4/9 ホームページについての話し合い
- 4/21 大阪府人権教育研究会講演(長崎)
- 4/22 OSN(おおさか災害ネットワーク)会議



- 4/30 ゆめごよみ 95 号編集会議
- 5/18 ハラスメント研修会、理事会
- 5/26 就業規則検討委員会、ゆめごよみ 95 号編集会議
- 5/28、6/17 OSN会議
- 6/22、23 ゆめごよみ 95 号発送作業
- 6/23 BCP(事業継続計画)会議
- 6/29 就業規則検討委員会
- 6/30 関西障害者定期刊行物協会総会(ZOOM)、近畿ろうきんイベント打ち合わせ

## クレジットカードによる寄付ができるようになりました！

ゆめ風基金ではみなさまからの要望が多かった「クレジットカードによる寄付」ができるようになりました。

ホームページでトップの写真左側にある「障害者救済金送り先」の下「その他の振込み方法」をクリックいただくか、画面左側の「ゆめ風基金とは」の下の「参加方法」をクリックいただくと、「クレジットカードによる寄付」が出てきますので、あとは案内に従って、必要事項を入力してください。なお個人情報プライバシーポリシーに基づき、慎重に扱わせていただきます。  
ご不明な点などがありましたら、お問い合わせください。

## そよ風、つむじ風、六甲おろし 各地からの風だより 12p

◆大変な状況で希望を失わず活動されている皆様の姿に私の方が励まされております

よこはまし  
(横浜市)

◆たんたんに伴走者でおります(日野市)

◆国は全くアテになりません(武蔵野市)

◆切手代です(北海道斜里町)

◆がんばって下さってほんとにありがとうございます(四万十市)

◆1年でも長く応援できるように私もガンバります(大阪平野区)

◆フクシマはまだ10年ねん おおさかひがしすみよしく(大阪東住吉区)

◆一緒にいっしょ共ともにがんばって支えあって寄り添いあって生きて行きましょうし が やすし(滋賀・野洲市)

◆コロナ禍は人間の生活を見直し、反省する機会きかいでもあるのですねりまく(練馬区)

◆風の時代到来。ゆめ風精神の時代。笑顔のお手伝い、お互いさまでおおさかし(大阪市)

◆少しでも前に進んでいきますように！お身体大切にしてくださいはちおうじし(八王子市)

◆先の見えない新型コロナ。皆さまの活躍を心強く思っていますよこはまし(横浜市)

◆永六輔さんとずーっとつながっていたいので心ばかりですやまがた なんようし(山形・南陽市)

◆牧口さん、お元気ですか？まきぐち おげんき すいたし(吹田市)

◆高齢になりました。今回で終わりにしますいけだし(池田市)

◆少しですが応援の気持ちとよなかしを！(豊中市)

◆ゆめ風との繋がりは私にとって心の力しまねけんになっていますちから(島根県)

◆長いトンネル、いつ光が見えるのやら。不安のスキをつかれぬようにしないとこうがし(甲賀市)

◆寄付します。困っている人に役立ててくださいさかいし(堺市)

◆ALSの主人を、見送りました。手助けのほしい人に、少しでも届くと嬉しいです。宜しくおよろしくおねがい願ねがいい

いたします おおさか みしまぐん  
致します(大阪・三島郡)

◆仲間の皆さん、ご苦労さまです。クラウドファンディングを活用してはいかがでかつようしょうか。ではま

やすし  
た(野洲市)

◆長い間、お送りいただきありがとうございました。みなさんで、頑張がんばってっていらっしやいますね。夫

が亡なくなつたくなったので、これですみませんが終わりにさせて下さい。ご縁ご縁を続けられなくて、ごめんなさ

い。当方一人暮らし、83歳年金で生活しているため。皆様の頑張りに、敬意を表しています！！

よこはまし  
(横浜市)

◆「がまん」の期間、長くなっていますね。風だよりはゆるく長く続きますように。ありがとうございます

きよせし  
す(清瀬市)

◆いつも少額でスママセン。今年は回数で。もう余命も少ないのですが(新潟県)

◆賛助会費です。滞っていたと思います、すみません。きびしい状況は続きますが、いたわりなが

とも ひょうごけん  
ら共に(兵庫県)

◆早く安心してバザーが出来る事を祈っています(東広島市)

◆東北震災の10年の節目、メディアから当時の様子が流れます。いろいろ思い出しますね、阪神

あわじ とうほく つなみげんばつばくはつ さらにたいふうおおあめ ころな… みんなが平穏に暮らせる日を祈るの

ねやがわし  
みです(寝屋川市)

◆少ししかできませんが。他のお手伝いの気持ちもあります。人の心は通じ合えて嬉しいと

おもいます みのおし  
思います(箕面市)

## へんしゅうこうき 編集後記

ここ数年、仲間の障害者の訃報を突然聞くことが多くなりました。会員さんの中にも、ご遺族から

連絡がくることがあります。とても胸が痛みます。また振込用紙のコメントにも「高齢のためやめま

す」などのお声も見られます。今まで一緒に歩んでくださって、本当にありがとうございました。

今回、記事を書いてくださったガラパゴスがまた被災したとのこと。連絡を取り合い必要なら支援を

すすめて  
進めていきます。(な)

## ネット

ゆめ風ネットワーク連絡先[fax は 06-6321-5662 まで]

さっぽろ 011-817-9080 秋田 018-846-3916 みやぎ 0220-44-4171 いわき 0246-68-8925 新潟  
024-232-7522 三條 0256-34-2448 JDS(東京)03-6907-1824 東大和 042-567-2622 立川 042-  
525-0879 横浜港北 045-431-4070 千葉 047-485-1245 埼玉 048-738-4593 上田 0268-39-4568  
静岡 054-288-6068 きくがわ 0537-35-8303 本庄 0495-24-8902 愛知 052-841-9888 名古屋 052-  
745-1001 岐阜 058-388-1864 加賀 076-243-6786 富山 076-444-3753 福井 0776-27-2621 三重  
059-202-5782 滋賀 077-543-2844 京都 0774-93-3277 JCIL(京都)075-671-8484 奈良 0745-  
42-2919 和歌山 0737-82-4060 伊丹 072-783-4991 ひょうご 078-642-0142 はりま 0792-84-4668  
淡路島 0799-70-6145 明石 078-913-5315 しまね 0854-83-2183 かがわ 0877-73-4177 愛媛 089-  
924-8533 まつやま 089-986-3245 今治 0898-54-4365 徳島 088-602-1003 岡山 0866-97-0206 ひ  
ろしま 082-294-4185 尾道 0848-38-9551 やまぐち 0833-76-0550 福岡 094-962-6003 宇佐 0978-  
32-3365 ながさき 0957-46-3858 諫早 0957-28-3800 さが 0952-74-4568 熊本 096-366-3329 み  
やざき 0985-31-4800 かごしま 0994-63-8855 沖縄 098-958-2912